

東京都脳卒中地域連携診療計画書の手引き(案)

●地域連携診療計画書とは

地域連携診療計画書とは、診療にあたる複数の医療機関が、役割分担を含め、あらかじめ診療内容を患者に提示・説明することにより、患者が安心して医療を受けることができるようにするものである。

脳卒中は、急性期から回復期や在宅療養へと、長期にわたる療養が必要であり、切れ目のない適切な医療提供体制を構築する上で、地域連携診療計画書は有効なツールの一つである。

東京都脳卒中地域連携診療計画書の作成にあたっては、イラストや図式を多用し、患者にとってわかりやすい様式となるよう検討した。また、記載項目の簡略化を図ることで医療者にとって負担の少ない様式となるよう検討した。

●東京都地域連携診療計画書の構成

		急性期	回復期	維持期(在宅生活期)
東京都脳卒中地域連携診療計画書	患者用	患者説明用パス		
	医療者用	急性期パス	回復期パス	在宅生活ノート
東京都標準版入院申込書				
診療情報提供書 (※病院ごとの既存の様式)				

●運用イメージ(モデルケース)

